

2010年度東京成徳大学大学院心理・教育センターPGC（卒後教育研究会）のご案内

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2007年から、当大学院を修了した方(事例提供をできる方)を対象に、PGC(卒後教育研究会)を立ち上げました。学内外の優れた心理臨床家の先生方をコメンテーターとしてお招きし、事例検討という場で各々が研鑽できるような会にしたいと思います。

については、今年度も下記の日程で開催致しますので、希望される方はお申し込み下さい。

記

1. 参加資格： 1)東京成徳大学大学院を修了された方（事例提供のできる方が望ましい）
2)何らかの臨床現場に関わり、守秘義務を守れる方
以上2点を満たす方

2. 日 程： 第一回 6/27(日)13:00～16:00 堀越勝 先生（駿河台大学）
第二回 8/29(日)13:00～16:00 成田善弘先生（桜クリニック）
第三回 12/12(日)13:00～16:00 村瀬嘉代子先生（北翔大学大学院）
第四回 2/11(祝)13:00～16:00 鶴養啓子先生（昭和女子大学）

3. 場 所： 東京成徳大学大学院 2F 講義室 I & II

4. 費 用： 12,000 円（修了1年目のみ分割可。6月と12月に納入）
*単発の受講は受け付けておりません。
*費用の振り込みをもって申し込みとさせていただきます。
*会員として登録された後、納入された費用の払い戻しは致しません。

5. 定 員： 40名
*申し込みの先着順に承ります。（詳しくは申込み方法をご覧ください。）
*希望者多数で承れない方には、こちらからメールでご連絡致します。

6. 事例提供者について：
各回とも、会員から提出された事例をコメンテーターと共に検討していく形で進めて参ります。事前に事例提供者を募りますので、積極的に事例をご提出下さい。なお、終結事例である必要はございません。
* 希望者多数の場合は、選考させていただきます。

事例提供者募集について

第一回堀越勝先生の会に事例を提供して下さる方を募集致します。

臨床に望んでいる方とさせていただきます。

堀越先生のご助言を直接いただけるまたとないチャンスですので、ぜひお申し込み下さい。

希望者は事務局あてにメールでご確認ください。 **〆切：2010年5月28日(金)**

* 終結事例である必要はございません。

* 事前に資料をご提出いただきます。

* 申し込まれた方には直接事務局からご連絡を致します。

* 応募者多数の場合、先生とご相談の上決定させていただきます。ご了承ください。

■ 堀越勝先生の職歴

1995年12月 米国ミニース・マイヤー・クリニック (サイコセラピスト)

1997年7月 米国ケンブリッジ病院行動医学プログラム (ハーバード大学医学部精神科上席研究員)

1999年7月 マサチューセッツ総合病院・強迫性障害研究所 (スタッフセラピスト)

2002年10月 筑波大学大学院人間総合科学研究科 (講師)

2009年4月 駿河台大学心理学部教授

その他、名古屋市立大学精神科、山梨英和大学、兵庫教育大学などで非常勤講師

主要研究領域・テーマ

●不安に対する介入：特に強迫性障害 (OCD) および外傷後ストレス障害 (PTSD) に対する介入を行っている。OCD に対しては曝露反応抑制法、また PTSD に対しては認知処理療法 (CPT) を用いた介入を行っている。

●うつに対する介入：企業内での軽度うつに対する介入

●犯罪者に対する介入：受刑者に対する矯正教育プログラムの開発と実施 (効果研究など)

http://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/shinri/kyoin/horikoshi.html より引用

お問い合わせは

東京成徳大学大学院 心理・教育相談センターPGC 事務局 tokyoseitoku_pgc@yahoo.co.jp

また連絡先の変更や所属先の変更などの連絡もこちらへお願いします。

(メールが戻ってきってしまう方が多数いらっしゃるのでもよろしくお願ひします。)

今後、連絡が不要の方も、こちらのアドレスにご連絡ください。

以上